# スーパークラシックOJシリーズ 第15、16,17弾 国鉄貨車シリーズ ワラ1(100~17464)



レム5000(レム5000~5850)1964年製レム6000(レム6000~6609)1967年製



レム5000(レム5000~5850)1964年製 試作サンプル



妻板の溶接ラインが中央縦に入ったものをAタイプ、横に入ったものをBタイプとします(写真はAタイプ)。

### 2015年3月発売予定

## 本体価格予価88,000円

OJスケールで戦後を代表する貨車を製作していくシリーズ。 2年に1回と云うゆっくりとしたペースで進めてきております。個人的にはOJではこの位のペース配分が一番良いと考えます。戦後国鉄を代表する有蓋車もワム9000、ワム70000、ワム60000、ワム80000と製造してまいりましたが今回は国鉄最後の2軸有蓋車DD1を発売致します。1962年に試作2輌(ワラ1、ワラ2)が、翌年から1966年に掛けて大量17,367輌(ワラ1、ワラ2、ワラ100~17464)が製造されています。一見ワム6000とそっくりですが新車両限界を採用したことにより、それまでのものより一回り大きなサイズとなり積載荷重も標準15tより2t増えて17tとなっています。軸距離もワム6000等よりも230mm伸ばす事で走行の安定性を計っています。1987年のJR化までに全てお役御免となっていますがワム8000と共に高度成長期を代表する2軸貨車です。編成中においても他の有蓋車と大きさの違いが一目瞭然の存在です。

もう一形式は1964年登場のやはり国鉄最後の2軸冷蔵車となった  $\nu$  5000形式です。1954年から製造された戦後を代表するもう一つの冷蔵車レ12000が氷槽式なのに対し、氷槽がほとんど使用されていないという事で無氷槽式として製造されている。尚これ以前に製造された無氷槽冷蔵車レム1、  $\nu$  6000保冷性が悪く荷主から不評を買っていたのでこれらと区別する目的で青15号の帯が30cm幅で側面に入れられている。この形式のみならず国鉄での冷蔵車の使用は1970年代後半より高速道路網の整備によりトラック輸送に取って替わられ急速に衰退し、JRに継承される事はなかった。

ワラ1、レム5000共1960年代より1980年代前半に掛けてつまり蒸気機関車の最後の十数年の活躍時期からEF10,EF15,EF60等のJRに引き継がれる事無く逝った電気機関車まで時代背景を共にした貨車たちです。レム5000は小海線では通風車代わりとして使用されC56に牽かれています。

最後の鉄製有蓋車 テラ 1 は石灰、セメント等雨水と化合して発火する恐れのある荷を輸送する有蓋車で屋根、側面、床とオールスチール製で雨水の侵入防止の為扇も含め二重張りとなっています。柱は全て車体外

側に有り庫内に内羽目、天井板が無いのが特徴となっている。戦後製のものではワム23000(9000)に準じた設計のテム100(2段リンク版はテム300)がありますが製品化するテラ1は鉄製有蓋車最後の形式で1964年製、ワラ1に準じたもので積載重量も17tとなり形式もテムよりテラとなっています。今回ワラ1を製作する上で下廻りの部品が多少流用できる事、車体にプレスのリブ等が無い事、庫内も内羽目等がない等々で多少製作がし易いという事で少量生産で製作する事となりました。この様な機会でないととても製作する事が不可能なプロトタイプと云えましょう。専属貨車で各管内の名、高、盛等の表記が魅力です。







上写真はレム5000ですが、両側に 足踏みブレーキが付いたレム6000 も製作致します。レム5000は19 82年より改造を行い足踏みブレーキ を両サイド式にされました。

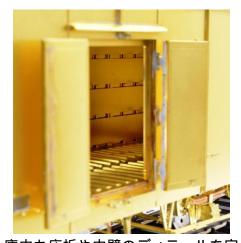
しかし当店では時代設定を1960年代から70年代としている事に加え改造されたレム5000の写真を1枚も目にする事ができませんでした。拠ってレム5000は上写真のように片側ブレーキのみ製作する事に致します。



右側のワム6000と比べワラ1のサイズが一回り大きいです。軸距離も少し長いです。



レム 6 0 0 0 では屋根上はレサ 1 0 0 0 0 と同じくプレスでリブを打ち出したものになります。(写真はレム 5 0 0 0)



庫内も床板や内壁のディテールを完全に再現しました。床板の凹凸は内側に向けて実物同様、左右共傾斜を付けています。(写真はレム5000)



ワラ1の見応えある下廻り。レム5000/6000と は短軸台車の形状が異なります。

+	IJ	<b> </b>	IJ	線	

#### <お 客様ご注文書>

ご注文年月日 年 月 日

<u>ご住所</u>

#### <u>メールアドレス</u>

		製	品	名		本体予価	数	量
TYPE1	ΟJ	ワラ1				¥88,000		台
TYPE2A	ΟJ	レム50	0 0			¥88,000		台
TYPE2B	ΟJ	レム60	0 0			¥88,000		台
TYPE3A	ΟJ	テラ 1	A タイプ ( 暑	<b>妻板の溶接線が中</b> 9	央縦 )	¥88,000		台
TYPE3B	OJ	テラ1	B タイプ ( 妻	<b>曼板の溶接線が横)</b>	)	¥88,000		台



〒174-0053 東京都板橋区清水町73-1 HOME PAGE <a href="http://www.musashino-m.co.jp">http://www.musashino-m.co.jp</a>
E-MAIL order@musashino-m.co.jp
TEL 03(3961)5666 FAX 03(3961)0317